

## 救いのことば

ルカによる福音 6:17、20-26

（そのとき、イエスは十二人）と一緒に山から下りて、平らな所にお立ちになった。大勢の弟子とおびただしい民衆が、ユダヤ全土とエルサレムから、また、ティルスやシドンの海岸地方から、（来ていた。）

さて、イエスは目を上げ弟子たちを見て言われた。「貧しい人々は、幸いである、神の国はあなたがたのものである。今飢えている人々は、幸いである、あなたがたは満たされる。今泣いている人々は、幸いである、あなたがたは笑うようになる。人々に憎まれるとき、また、人の子のために追いつかれ、ののしられ、汚名を着せられるとき、あなたがたは幸いである。その日には、喜び踊りなさい。天には大きな報いがある。この人々の先祖も、預言者たちに同じことをしたのである。しかし、富んでいるあなたがたは、不幸である、あなたがたはもう慰めを受けている。今満腹している人々、あなたがたは、不幸である、あなたがたは飢えるようになる。今笑っている人々は、不幸である、あなたがたは悲しみ泣くようになる。すべての人にほめられるとき、あなたがたは不幸である。この人々の先祖も、偽預言者たちに同じことをしたのである。」

### 説教

耳当たりのよいことば、耳にやさしいことば、イエスさまはご自身が愛にあふれたお人のように、その口からでるみことばも愛にあふれています。しかし、「わたしにつまずかない人は幸いである。」ルカ7:23のような厳しいおことばもあります。イエスさまの福音、救いのみことばは世の中の常識に沿ったものばかりではありません。

今週の福音でも「幸いである」とされるのは、貧しい人々、今飢えている人々、今泣いている人々、人々に憎まれる人々です。これは人間の常識を覆

す幸福観です。

**ある女が群衆の中から声高らかに言った。「なんと幸いなことでしょう、あなたを宿した胎、あなたが吸った乳房は。」しかし、イエスは言われた。「むしろ、幸いなのは神の言葉を聞き、それを守る人である。」**ルカ 11:27-28

**宴会を催すときには、むしろ、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を招きなさい。その人たちはお返しができないから、あなたは**幸いだ**。**

ルカ 14:13-14

「神の言葉を聞いて守る人 (ルカ 11:28)」「貧しい人々や体の不自由な人を宴会に招く人 (ルカ 14:14)」は「幸いである」とイエスさまは教えます。

どうしてそれが「幸い」なのか？

イエスさまは理由をはっきり示しているかということ、あいまいです。いま飢えていれば満たされる、いま泣いていれば笑うようになる。ぎゃくにいま満腹なので飢える、いま笑っているのに泣く、といいます。理由とか訳とかイエスさまは気にされません。憎まれると幸せ、ほめられると不幸とおっしゃいます。

**「わたしにつまずかない人は幸いである。」**ルカ 7:23

だからこそ、幸いの条件に「わたしにつまずかない者」と示されているようです。

**人々に憎まれるとき、あなたがたは幸いである。この人々の先祖も、預言者たちに同じことをしたのである。**ルカ 6:22-23

**すべての人にほめられるとき、あなたがたは不幸である。この人々の先祖も、偽預言者たちに同じことをしたのである。**ルカ 6:26

イエスさまのみことばを聞いてそれを守る人は幸いです。こころの深いところに、世界の底のところに届くように丁寧に運ばれ、語り継がれてきた福音を私たち一人ひとりが受け止めることができますように。

-----